

令和6年度 第3回松山地域協議会会議録

日 時 令和7年1月27日（月） 意見書の提出締切り（書面開催）
令和7年1月31日（金） 会長協議

場 所 松山総合支所 会議室

出席者 平向邦夫会長
事務局 鈴木啓介支所長、佐藤賢治支所長補佐

1 開会

市への提言書（案）を各委員へ送付し、27日を締切りとして皆様より意見書を提出していただいた。提案書（案）に対し「意見なし」と回答された方（回答なしを含む）は、13名だった。意見をいただいた方は2名いらっしゃった。本日、その意見をどこまで反映するか調整し、松山地域協議会からの提言書として提出をしたい。

2 協議

○提言書「はじめに」への意見

なし。

○提言書「提言1 住民の防災意識向上を図るための取組強化」への意見

（意見1）

役割の明確化は必須ですが、コミ振、自治防災会、個人等多くの役割がダブらない全体の組織図が欲しいです。一人で何役もできないと思います。

（意見2）

防災訓練は年2回位コミセン単位で行ってはどうでしょうか。

→ 市の防災対策ではなく、コミュニティ振興会または各自主防災会での課題であるため、提言書には追記しない。各コミュニティ振興会へ意見をいただいたことを伝える。

○提言書「提言2 避難所運営の検証と対策の強化」への意見

（意見1）

避難所の物資等の置き場所や数量を知らない人が多いと思います。

（意見2）

コミセンと地区の代表数人との連携を密にしておいた方がいいと思います。

→ 提言書（案）に記載されている内容の同意とみなす。

○提言書「提言 3 防災行政無線・防災ラジオの改善」への意見

(意見 1)

防災ラジオの活用について、地区を限定できないのであれば全地域に放送するべきです。積極的に放送するよう改善を図るではだめです。

→ ご意見のとおり直接的な表現に提言内容を改める。

(意見 2)

希望する人に従来型の個別受信機を配置するとありますが、個別受信機は電波法で NG なのでラジオに切り替えることにしたはずではなかったのでは。

→ NG とされるのは、アナログ波の使用のことであり、提言書はデジタル波対応の個別受信機を新たに配置するといった意であるため、提言内容は変更しない。

(意見 3)

情報伝達がうまくいけば指示通り動けばいいのではないのでしょうか。

→ 今回の災害で、避難に関する指示が出ていたのを知っていても避難される方は少なかった。

防災教育にも取り組む必要があると考えられるため、提言内容は変更しない。

(意見 4)

防災行政無線の受信設備の見直しができるようでしたら、今の飾り物のラジオではなく、多少地域で負担してもしっかり聞こえる防災ラジオに変更していただきたいと思います。

→ 提言書（案）に記載されている内容の同意とみなす。

○提言書「提言 4 防災対策の強化」への意見

(意見 1)

排水能力の小さい機械では役に立たない。インフラの整備についてもっと提言したほうが良いと思います。期限付きの整備計画を提示して欲しい。排水能力の高い機械があれば水防訓練は不要です。

→ 国交省設置の排水ポンプの更新については、市長への提言ではなく、コミュニティ振興会や自治会からの要望案件となるため提言書には追記しない。なお、既に市長には竹田自治会より要望書が提出されている。

3 閉 会

(事務局)

1 月 31 日が提言書提出の締切りとなっているので、本日いただいた意見を基に内容を訂正し、提出する。